

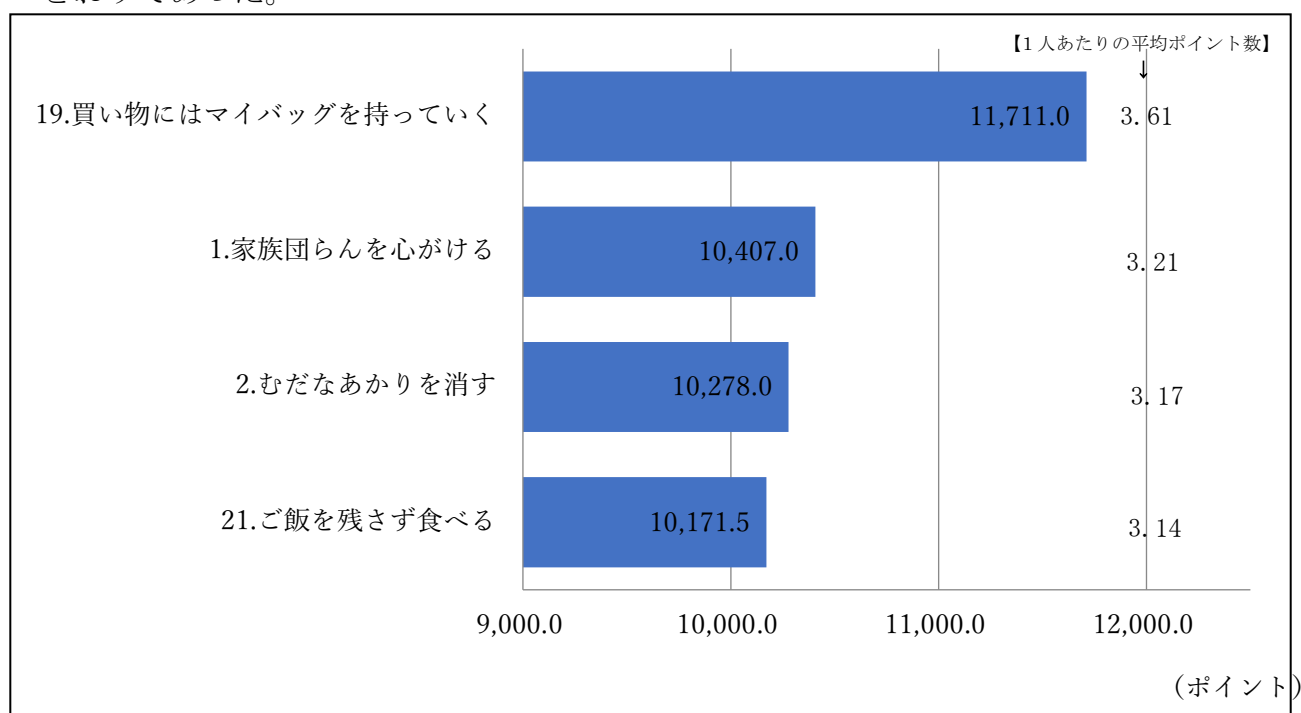
Ⅲ. 事業の結果

1. 参加校及び参加児童数

- ◇ 参加校 … 70校
- ◇ 参加児童数 … 3,543人
- ◇ とりくみノート提出児童数 … 3,244人 (91.6%)

2. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（ポイント制）

がんばり度ランキングは、かならずチャレンジ4項目の取組みを、1週間当たり「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント「できなかった」を0ポイントとして、4週間分の取組みをがんばり度として表したものであり、その結果は次のとおりであった。



※ グラフは、とりくみノート提出児童分 (3,244人) を集計したものである。

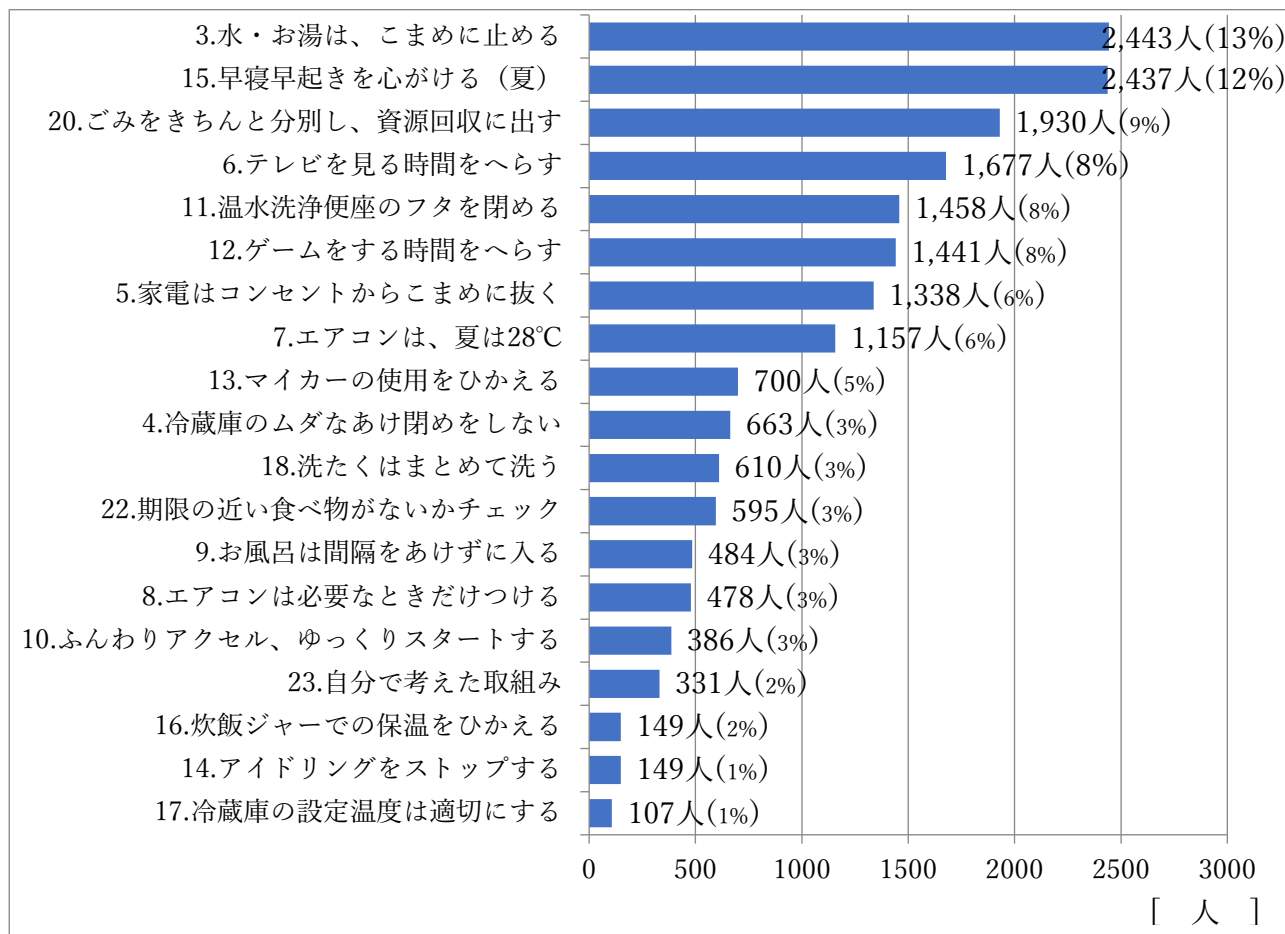
とりくみノート提出児童 3,244人が全員「よくできた」だった場合に得られる最大ポイントは 12,976ポイントとなる。

今年度は必須取組みである「かならずチャレンジ」を昨年同様4項目とした。

全体を通して、1項目に対する1人当たりのがんばりポイントが約3ポイントであったことから (1ポイント×4週=最大4ポイント)、各家庭においてしっかりとチャレンジ10に取り組んでいたことがうかがえる。

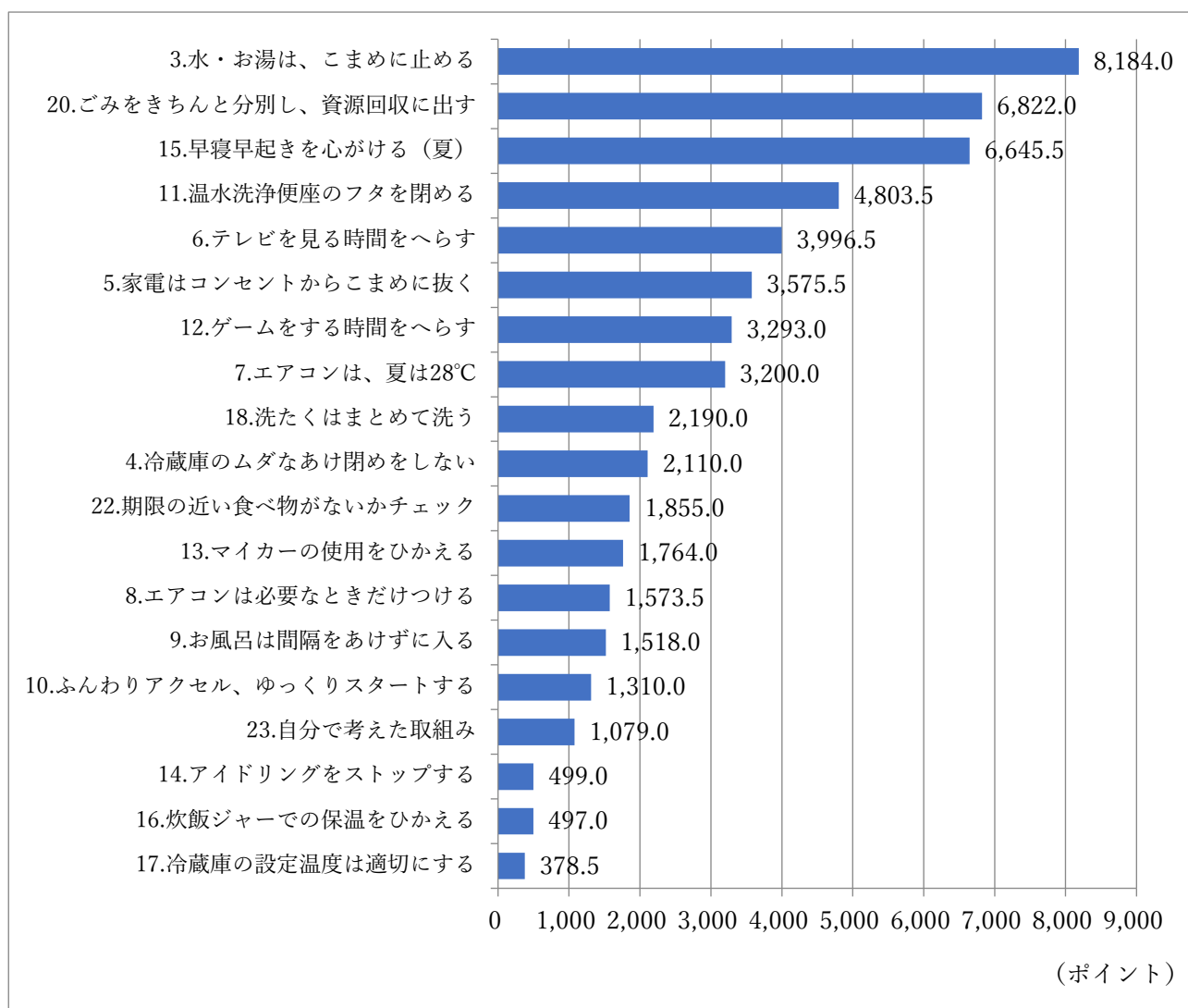
3. 「えらんでチャレンジ」がんばり度ランキング（ポイント制）

「えらんでチャレンジ」は、「かならずチャレンジ」の4項目のほかに児童が自ら6項目を選択するものである。各取組みの人数は次のとおりであった。



「水・お湯は、こまめに止める」が最も多くなっている。次に多かったものが「早寝早起きを心がける」で、夜間の余分な電気を消すことで温暖化防止につながるとともに、夏休みの生活習慣にも良い影響を与えたと考えられる。

児童が選択した取組みを「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（ポイント制）と同様に集計し、ランキング化したところ、その結果は次のとおりであった。



ポイントランキングでは「水・お湯は、こまめに止める」がトップで、次は「ごみをきちんと分別し、資源回収に出す」であった。

なお、各取組み項目に対する1人当たりのがんばりポイントは、以下のとおりであった（1ポイント×4週＝最大4ポイント）。

取組例 の番号	取組みの内容	がんばり ポイント	取組みを選択 した人数	1人当たりの がんばり ポイント	
		(4週間分) A	B	(4週間分) X=A/B	
かならず	1	家族団らんを心がける	10,407.0	* 3,244	3.21
	2	ムダなあかりを消す	10,278.0	* 3,244	3.17
	19	買い物にはマイバッグを持っていく	11,711.0	* 3,244	3.61
	21	ご飯を残さず食べる	10,171.5	* 3,244	3.14
えらんで	3	水・お湯は、こまめに止める	8,184.0	2,443	3.35
	4	冷蔵庫のムダなあけ閉めをしない	2,110.0	663	3.18
	5	家電はコンセントからこまめに抜く	3,575.5	1,338	2.67
	6	テレビを見る時間をへらす	3,996.5	1,677	2.38
	7	エアコンは、夏は28℃	3,200.0	1,157	2.77
	8	エアコンは必要なときだけつける	1,573.5	478	3.29
	9	お風呂は間隔をあけずに入る	1,518.0	484	3.14
	10	ふんわりアクセル、ゆっくりスタートする	1,310.0	386	3.39
	11	温水洗浄便座のフタを閉める	4,803.5	1,458	3.29
	12	ゲームをする時間をへらす	3,293.0	1,441	2.29
	13	マイカーの使用をひかえる	1,764.0	700	2.52
	14	アイドリングをストップする	499.0	149	3.35
	15	早寝早起きを心がける（夏）	6,645.5	2,437	2.73
	16	炊飯ジャーでの保温をひかえる	497.0	149	3.34
	17	冷蔵庫の設定温度は適切にする	378.5	107	3.54
	18	洗たくはまとめて洗う	2,190.0	610	3.59
	20	ごみをきちんと分別し、資源回収に出す	6,822.0	1,930	3.53
	22	期限の近い食べ物がないかチェック	1,855.0	595	3.12
	23	自分で考えた取組み	1,079.0	331	3.26
				平均	3.12

* とりくみノート提出児童数 3,244人

1人当たりのがんばりポイントは、各取組みの平均で3.12であったことから、各家庭において、しっかりとチャレンジ10に取り組んでいたことが伺える。

4. 取組み効果の推計

取組み結果から取組み期間において削減できた二酸化炭素排出量の推計及び節約額の推計は次のとおりであった。

- ◇ 二酸化炭素(CO₂)排出量 : 約102トンの削減
 ※25mプール102個分の体積に相当

$$\left. \begin{array}{l} \text{CO}_2 \text{ 1 トンの体積 : } 509 \text{ m}^3 \\ \text{25mプール} \quad \quad \quad \updownarrow \\ \text{25m} \times \text{12.5m} \times \text{1.5m} = 468 \text{ m}^3 \end{array} \right\}$$
- ◇ 節約額 : 約979万円の節約

効果の推計結果

	がんばりポイント 順位	取組例 の番号	実践した取組み	がんばり ポイント	1週間の削減効果			効果の推計	
				(4週間分)	CO ₂ (kg)	金額 (円)	CO ₂ (kg)	金額 (円)	
				A	B	C	X=A×B	Y=A×C	
かならず	1	19	買い物にはマイバッグを持っていく	11,711.0	0.854	70	10,001	819,770	
	2	1	家族団らんを心がける	10,407.0	4.564	196	47,498	2,039,772	
	3	2	ムダなあかりを消す	10,278.0	0.182	7	1,871	71,946	
	4	21	ご飯を残さず食べる	10,171.5	0.259	294	2,634	2,990,421	
なるべく	1	3	水・お湯は、こまめに止める	8,184.0	0.553	63	4,526	515,592	
	2	20	ごみをきちんと分別し、資源回収に出す	6,822.0	0.000	*1 0	*1 0	*1 0	
	3	15	早寝早起きを心がける(夏)	6,645.5	1.631	77	10,839	511,704	
	4	11	温水洗浄便座のフタを閉める	4,803.5	0.329	21	1,580	100,874	
	5	6	テレビを見る時間をへらす	3,996.5	0.154	7	615	27,976	
	6	5	家電はコンセントからこまめに抜く	3,575.5	1.043	56	3,729	200,228	
	7	12	ゲームをする時間をへらす	3,293.0	0.210	21	692	69,153	
	8	7	エアコンは、夏は28℃	3,200.0	0.924	49	2,957	156,800	
	9	18	洗たくはまとめて洗う	2,190.0	0.056	84	123	183,960	
	10	4	冷蔵庫のムダなあけ閉めをしない	2,110.0	0.098	7	207	14,770	
	11	22	期限の近い食べ物がなかチェック	1,855.0	0.546	630	1,013	1,168,650	
	12	13	マイカーの使用をひかえる	1,764.0	2.961	182	5,223	321,048	
	13	8	エアコンは必要なときだけつける	1,573.5	0.574	35	903	55,073	
	14	9	お風呂は間隔をあけずに入る	1,518.0	1.645	119	2,497	180,642	
	15	10	ふんわりアクセル、ゆっくりスタートする	1,310.0	3.724	231	4,878	302,610	
	16	23	自分で考えた取組み	1,079.0	*1 0	*1 0	*1 0	*1 0	
	17	14	アイドリングをストップする	499.0	0.770	49	384	24,451	
	18	16	炊飯ジャーでの保温をひかえる	497.0	0.868	49	431	24,353	
	19	17	冷蔵庫の設定温度は適切にする	378.5	0.574	35	217	13,248	
合計							102,818	9,793,041	
児童1人当たり *2							32	3,019	

※X、Yは小数点以下四捨五入

*1 削減効果の数値データがないため未計算

*2 全ての合計÷とりくみノート提出児童数(3,244人)

※削減効果の数値：環境省「身近な温暖化対策」、(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ百科」等

5. 児童が考えた取組み

児童が考えた「独自の取組み」の主なものは次のとおりであった。

- ・物を最後まで使う。
- ・買い物するとき、商品は手前からとる。
- ・冷蔵庫を開ける時間を短くし、開ける回数を減らす。
- ・洗たくはお風呂ののこり湯を使う。
- ・お風呂の水を花にあげる。
- ・お風呂にふたをしてお湯を保温する。
- ・トイレットペーパーやティッシュのむだ使いをしない。
- ・明るい時間はカーテンを開け、電気を消す。
- ・配達便をできるだけ一回で受け取る。
- ・ちらしのうらが白ければメモにする。
- ・スマホはじゅう電が終わったらすぐぬく。
- ・とやまの旬の食材を食べよう。
- ・自分の食べる量を考えてとる。
- ・じょうぶな物を買う。(長く使うため)
- ・外出する時は水とうを持っていく。
- ・しょう味期限が近いものから食べる。

6. 工夫したこと

家庭での取組み実践中には様々な工夫が行われており、その主なものは次のとおりであった。

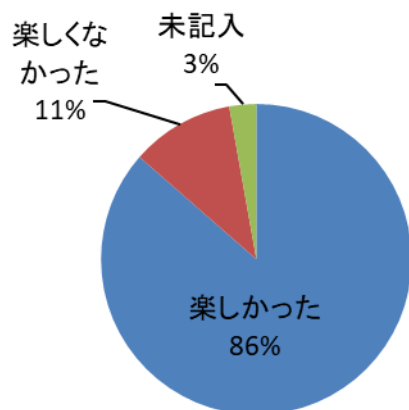
- ・買い物に行くとき「マイバッグを持った？」と言うようにした。
- ・家族で取り組めるように、ポスターを作ってはりました。
- ・できるだけ飲み物を買わないために水とうを持って行った。
- ・毎日「できた？」と声をかけて、できていなかったら今からでもやることを意識した。
- ・トイレの流す水のレバーの大と小を使い分けた。
- ・コンセントをぬくのも時間がかかるので、スイッチで切りかえできるものにかえた。
- ・トランプや折紙、読書などをして、テレビやゲームをする時間をへらした。
- ・晴れた日はカーテンをあけて、電気をつけないようにした。
- ・外出する時に電気がついていないか確認した。
- ・お風呂に続けて入って、ボイラーをつけている時間を短縮した。
- ・常にとりくみノートを出して意識できるようにした。
- ・物を大切に使い、むだづかいしないように心がけた。
- ・ご飯を残さず食べるように好き嫌いをなくした。
- ・取り組みが習慣になるようなチャレンジを選んだ。
- ・じゅう電器を使いっぱなしにしない。
- ・自分がリーダーでなくても積極的に取り組んだ。
- ・同じ時間に同じ場所でお兄ちゃんと宿題をした。

7. 事後アンケート結果

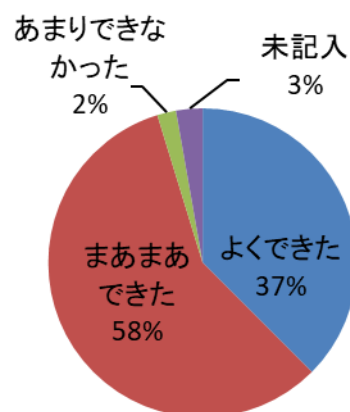
参加した児童、家族及び学校に対して、地球温暖化問題に対する意識や取組みについてアンケートを行ったところ、結果は次のとおりであった。

(1) 児童（回答数：3,244人）

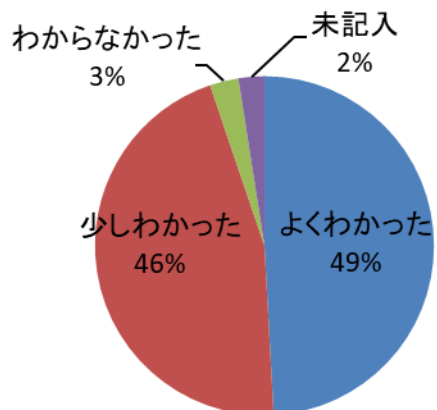
①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？



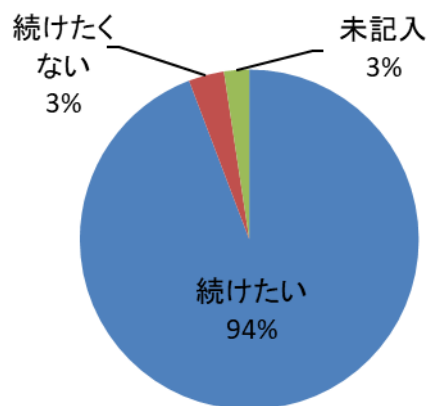
②選んだ取組みは、4週間よくできましたか？



③地球温暖化はどのような問題わかりましたか？



④これからも地球温暖化をとめるための取組みを続けていきますか？

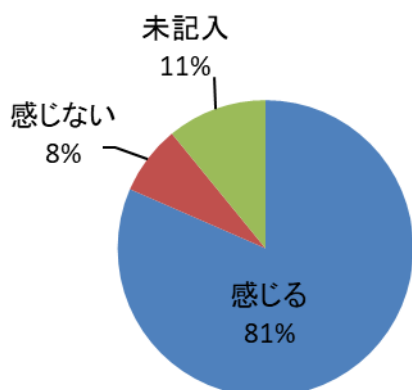


⑤感想やこれからがんばりたいこと、もっとしりたいことなどを書いてください。

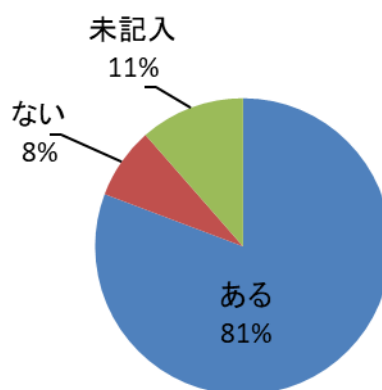
- ・「まあまあできた」シールが多かったので、チャレンジ10をこれからも続けて、「よくできた」シールを多くしたいです。
- ・地球温暖化についてどのようなことをすればいいのか、もっとくわしく知りたいです。
- ・地球温暖化のスピードを少しでもゆるめて、北極や南極にいるシロクマやペンギンたちの場所を守りたいです。
- ・休みだったのでごみ出しの手伝いをした。学校が始まって、早起きをして手伝いをがんばりたい。
- ・もっとたくさんの人に地球温暖化を知ってもらえるようにしたいです。
- ・今回は気付かなかったり、わすれたりしたので、これからはしっかり気付いて行動したいと思いました。
- ・地球温暖化はみんなが協力しないといけない問題と思いました。
- ・これからチャレンジ10の取組み以外にも自分で発見してどんどん取り組んでいきたいです。
- ・ごみが燃やされるときにも二酸化炭素が出ると聞いたので、プラスチックごみなど、なるべくごみを出さないようにしたいと思う。
- ・簡単なことでも少しずつ地球温暖化を止めるためにやっていかないといけないんだなと思いました。
- ・好ききらいをせずにごはんを残さず、食品ロスをへらすのをつづけていきたいと思います。
- ・これからもごみを減らすためにマイバッグや水とうを持って行く。
- ・地球にやさしい活動をやったおかげで家族ともふれあえて、エコな活動ができて一石二鳥でした。
- ・テレビやゲームの時間を減らすようがんばりたいです。
- ・この取組みをして、地球温暖化について知り、地球温暖化を止めるにはどのようなことをすればよいのか考えることができた。
- ・とやま環境チャレンジが楽しかったので、自分でもとりくみノートをつくってやっていきたいと思います。
- ・夏休みだったので、早寝早起きがむずかしかったです。
- ・地球温暖化で地球が温まって、伝染病をもたらすカの生息域がふえたり、災害がふえるのがこわいなと思いました。
- ・「頑張る」ではなく、良いクセになるように続けていきたいです。
- ・ごみの分別がむずかしかったです。
- ・部屋の電気を消すように心がけるようになりました。
- ・家族団らんすることで電気を使う量がへった。
- ・私が選んだ取組み以外の取組みもしていきたいです。

(2) 家族 (回答数 : 3,244 人)

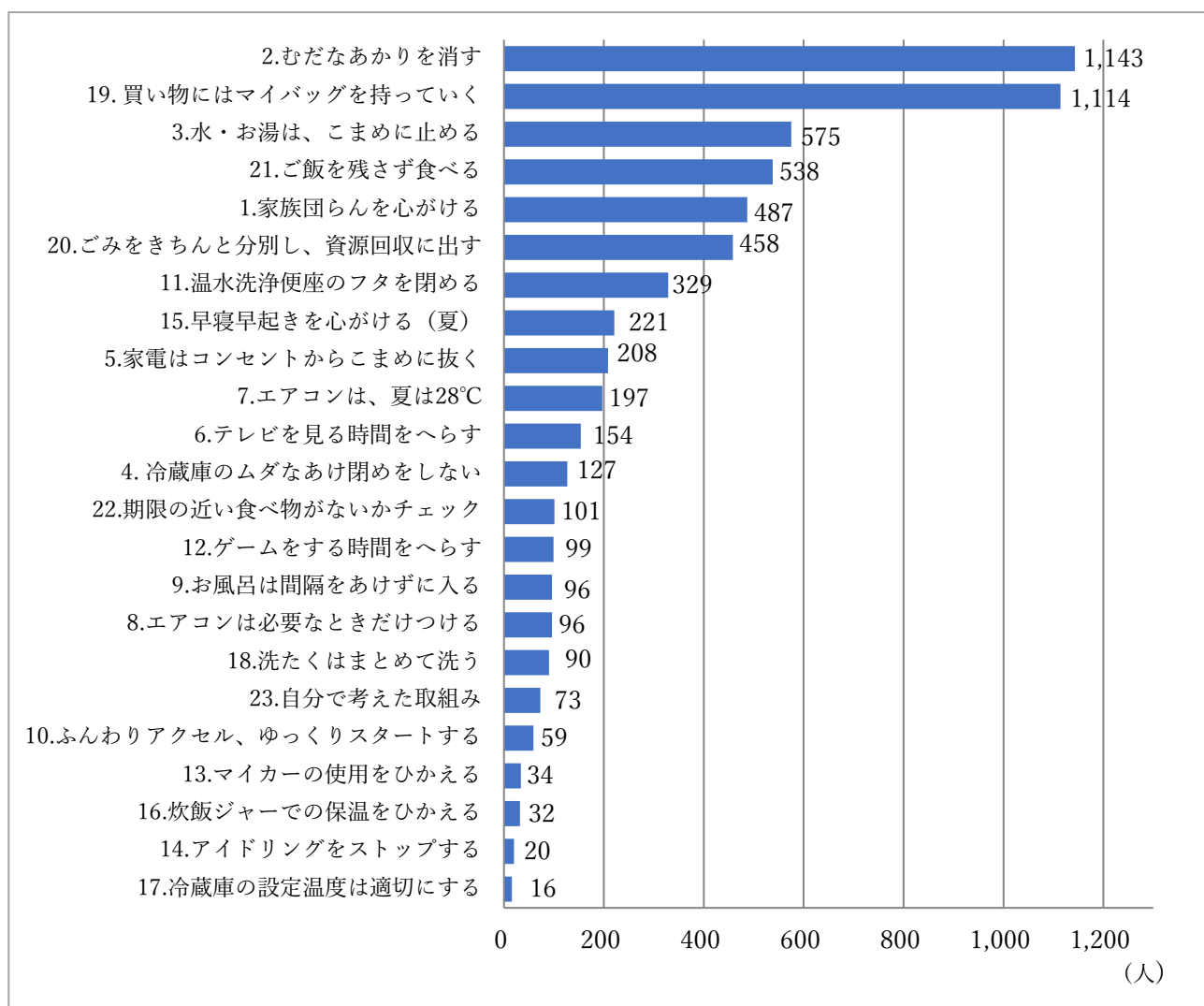
①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？



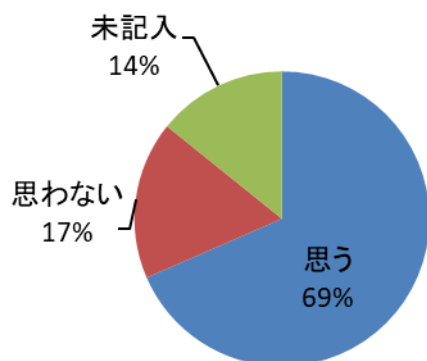
②習慣化した取組みがありますか？



③取組みのある場合、その取組みはどれですか？



④チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



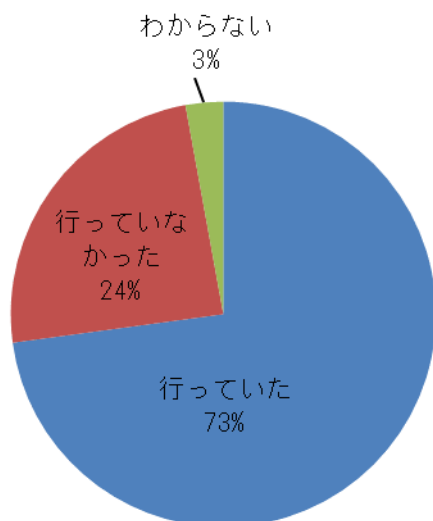
⑤感想や意見をご記入ください。

- ・家族皆で身近なところから地球温暖化防止を意識するように心がけるようにしました。
- ・4年生だけの取組みではなく、毎年続けることで意識づけをすることができればと思います。
- ・買い物の時、娘が「すぐ食べるから」といって期限の迫った品物を選んでいたことがうれしかったです。
- ・朝起きたら、カーテンを開けて、自然の明かりを使って電気代を減らしたりしました。
- ・子供に声かけされることで、環境に対して意識することが増えました。
- ・休日にエコステーションへペットボトル、ダンボール、雑誌を持って行ってみました。ごみが資源になるという意識が高まったのではないかと思います。
- ・ペットボトルを買わないようにマイボトルで水やお茶を持って行くようになったことがインパクトが大きかったと思う。
- ・食器を洗うのを手伝ってくれた時に、こまめに水を止めたり、少なめに出すように気を付けていたことがうれしかったです。
- ・食事を残さず食べるといった、身近ですぐ取り組める内容が具体的に挙げられていたことがよかった。
- ・子どもの方がSDGsに詳しく、教えてもらうことが多かったです。
- ・熱中症の心配もあり、エアコンを消すことは出来なかったが、テレビ、部屋の明かり、一つの部屋で過ごすなどの工夫した。
- ・家族で声かけをして、少しでもむだを減らしてみたが、習慣になるまで時間がかかった。
- ・リサイクルセンターと一緒に行って、どうやってリサイクルされるか見られて、よい経験となりました。
- ・とりくみノートを冷蔵庫にはって、目につくようにしました。その結果、家族それぞれ気を付けていたと思います。
- ・マイバッグ持参を心がけることや食材を多く買いすぎない、なるべくごみの少ない包装のものを選ぶことを続けていけたらいいと思う。

(3) 小学校 (回答数 : 70 校)

①地球温暖化や環境問題に関する授業について

ア. 貴校では小学1～4年生の間で、とやま環境チャレンジ10以外で地球温暖化や環境問題に関する授業を行っていますか。



「行っていた」の内訳

学年*	「行っていた」の内訳		科目*	科目別の時間	
	年数	校数		科目	時間
4年	44	54	総合的な学習の時間	40	
3年	5		社会・社会科	9	
1年	2		理科	3	
6年	3		生活科	1	
合計	54		家庭科	1	
			合計	54	

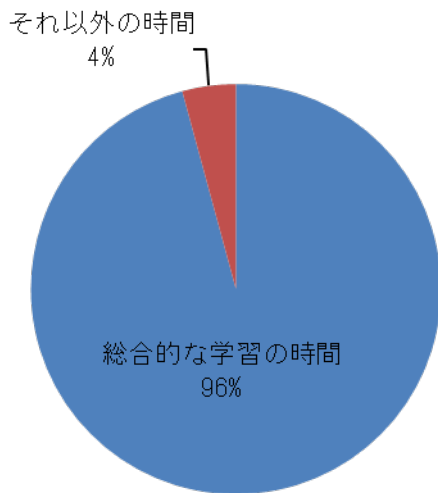
*複数回答可

イ. アで行っていると回答した学校にお聞きします。地球温暖化や環境問題について生徒が学んでいる内容を教えてください。

- ・地球温暖化、水質汚染、森林破壊等の環境問題について調べ、他学年に伝わるようポスターや本を作ってまとめた。自分たちに出来ることを考え、実践した。
- ・身の回りの環境問題が、私たちの生活に及ぼす影響について調べている。また、それらの環境問題を解決するために、自分たちにできることについて考えている。
- ・川、用水、下水の役割、水の大切さ。
- ・SDGsの目標1～17の中で、環境についても学びました。
- ・食品ロスの問題、海洋汚染について、3R、生物とごみの関係、ごみ処理（分別）
- ・地域の自然環境の良さを知り、それを守ろうとする心情や態度を育てる。
- ・「秋見つけ」でどんぐりなどを拾ってきて、自然に親しんでいる。
- ・風の力の単元で、風力発電について学習した。
- ・地球温暖化やごみ問題等が、校区内にある池やそこに住むトンボ等の生物、周辺の自然環境に与える影響について。
- ・持続可能な社会を目指して、人と空気、水、植物等との関わり方を見直す。
- ・学校ビオトープの生物の観察等を行い、生物多様性保全に関する学習を行った。
- ・地域の施設を見学し、環境に配慮したまちづくりについて考える学習を行った。
- ・内川に住んでいる魚を調査したり、ポイ捨てされたごみを拾いに行きました。
- ・校区の公園、通学路のごみ、六渡寺海岸清掃、世界の食品ロス、飢餓問題と、給食残食調査、海面上昇・異常気象による生き物、島国への影響など
- ・環境問題として、地球規模で進んでいる環境破壊や砂漠化、水質汚染など

②とやま環境チャレンジ10について

ア. とやま環境チャレンジ10ほどの時間を活用して実施されましたか。



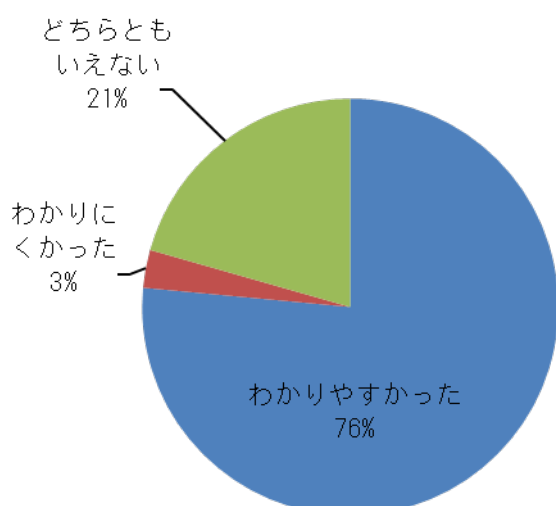
「それ以外の時間」の内訳

科目*	社会科	2
	長期休暇中の課題	1
	合計	3

イ. 授業で活用するために配布した、副読本「地球温暖化を止めるため 家族みんなでチャレンジ!」の内容についてご意見をお聞かせ下さい。

- ・地球温暖化や食品ロスの説明が文章だけでなく、イラストや写真も載せてあり分かりやすかった。
- ・子供たちの取組みが「お金だと〇円節約」というように分かりやすく計算されているところも、みんなの「がんばりたい」という意欲を高めていたように思われる。
- ・分かりやすかったが、富山県での取組とそれによる成果が分かったと良い。また、地球環境の変化によって、富山県はどう変わるかを具体的に聞かせてもらうと子供たちも自分事と捉えやすい。
- ・分かりやすく、子供たちは新聞づくりや発表のための情報集めに活用していた。
- ・地球温暖化が進むとどうなるかについて、写真を取り入れながら具体的に書かれている。また、自分の住んでいる富山県での具体例もあり、分かりやすかった。
- ・取り組みやすく良かった。活動がポイント化され、達成感を子どもたちは持つことができたようだ。
- ・写真やイラスト、グラフが大きく載っているので、とても分かりやすかった。推進員の方のお話の中でも副読本の内容に触れていただけるとより理解が深まると思った。
- ・海や川を流れるプラスチックの問題についての写真等がもう少しあると良いと思います。
- ・SDGsについての内容も入っていると良かったと思います。子供が読んでもわかりやすい文で、絵やグラフ等も入っていて良かったと思います。
- ・節電や節水に関するだけでなく、身近なエコ活動について幅広い内容を入れてほしい。
- ・温暖化についての説明→影響→対策 という展開が分かりやすいです。
- ・P.2 の写真の説明文について、上部ツバルとバン格拉ディシュは良いのですが、下部リンゴと蚊の写真は説明があっても良いと思います(気温が上がると、リンゴの色づきが悪くなる、蚊の生息域が広がったり、越冬したりして、蚊が増える)
- ・簡単なものから、難しいものまでさまざまあり、子供たちも自分のレベルに合わせられたのでよかったです。

ウ. 地球温暖化防止活動推進員による授業はわかりやすかったですか。



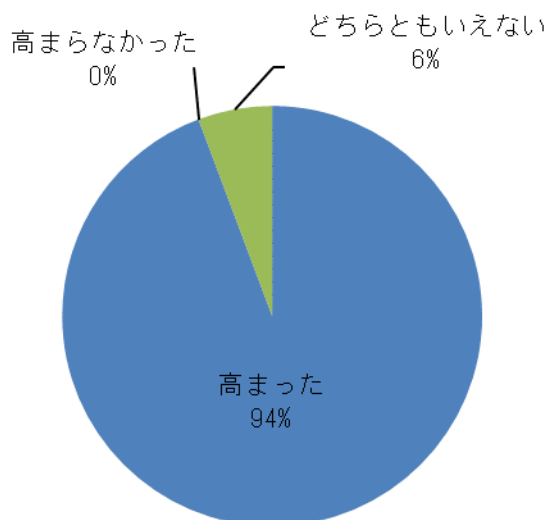
エ. 地球温暖化防止活動推進員の授業に関してご意見をお聞かせください。

- どのような内容になるのか具体的に分かっていると子供たちの興味につなげやすくなると感じた。
- 打合わせはオンラインでも可能だと思った。資料は各校に配布していただくと、多人数が集まらなくてもよい。
- 地球温暖化の説明や環境チャレンジ10の取り組み方について、分かりやすいスライドと具体物を用いて丁寧に指導して下さった。そのため、子供たちは必要感をもって「地球温暖化防止活動」に取り組むことができた。事前の打合わせの際も丁寧に対応して下さった。
- 推進員の方の熱意がとても伝わってくる授業でした。それもあって、夏休み中もチャレンジ10に真剣に取り組んだ子が多かったです。
- パワーポイントを使ってとても分かりやすく話していただきました。また、推進員さんの人柄が伝わるような温かい話しぶりで、楽しく聞くことができました。打合わせもしっかりと行うことができ、情報交換も密にできてよかったです。
- 推進員のお話を聞くだけでなく、子供たちとのディスカッション等もあり、互いの考えを深めることができた。
- 地球温暖化に関して、現状のデータをふまえて、将来の予測も示して下さったことで、視野を広げることができた。
- 対子供を想定した説明をしていただけるとありがたかった。
- 子供たちの取組みによってどのくらいの効果があったか（例えば節約）をお金等に換算して示して下さり、子供たちも驚くとともに自分たちが行った活動に喜びを感じていました。
- 事前の打合わせで、児童の興味を持っていることを伝えることで、それをふまえて授業をしていただくことができた。
- ノーベル物理学賞を受賞された真鍋先生、環境チャレンジ10 前編と後編の間に起きた世界各国の災害等タイムリーな話題も取り上げて下さり、子供たちは大変興味を持って聞いていた。
- 具体的な資料や興味を持てる道具等を多数持ってきていただいたおかげで、あっという間に

時間が過ぎた。とても有意義な授業だった。

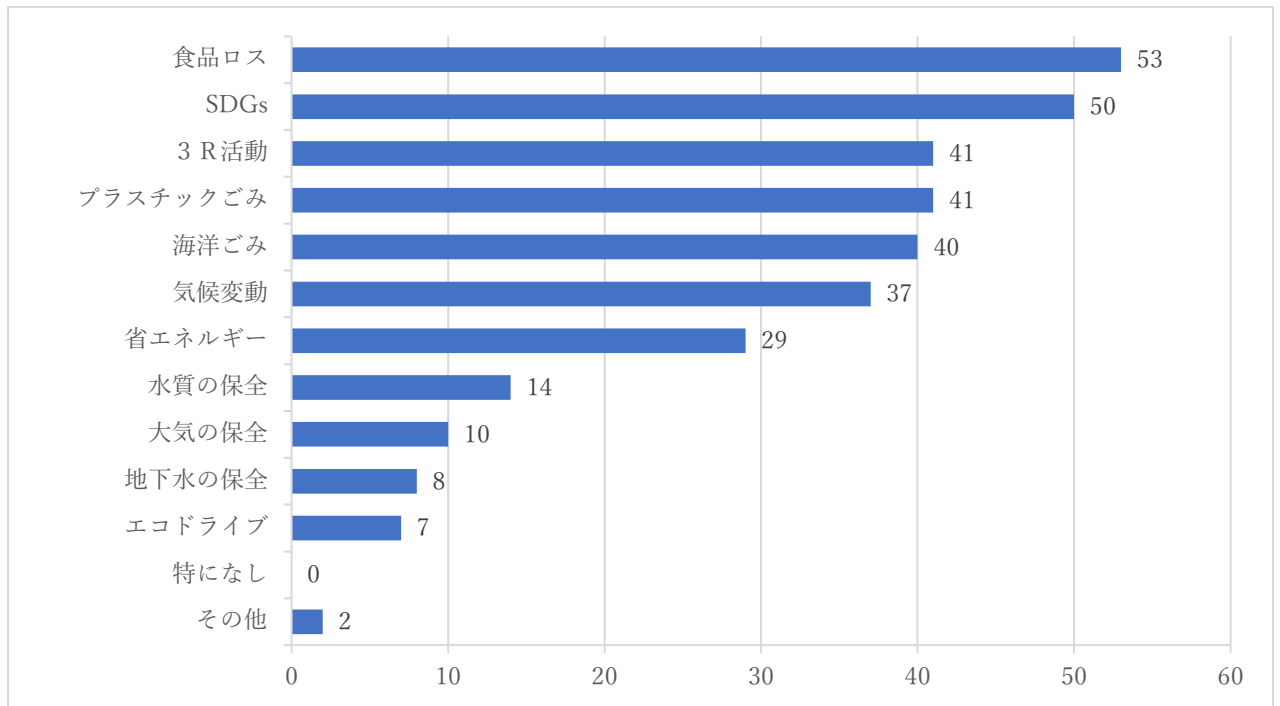
- ・授業は担任と推進員が協力して進めていく形にすれば、さらに良くなると思った。
- ・子供たちが環境問題について興味を持てるように、クイズや写真を提示して頂けたのがよかった。
- ・パワーポイントを使って、分かりやすく説明して下さり、子供たちも1時間関心を持って集中して話を聞くことができた。とても良かったので、ぜひ来年もお願いしたい。
- ・担任がパワーポイントの修正の手助けをするなど、負担が大きかった。
- ・打ち合わせの際に、当日に使用するパワーポイントのデータを持ってきて下さり、当日の流れを把握することができ、良かったと思います。
- ・地元に関連した話題も取り入れていただき、子供たちは興味を持って授業を受けることができた。
- ・地球温暖化の原因について詳しく説明されたが、4年生には難しかったと思いました（4年生にはサラッとでいいと思います）。
- ・推進員の方の説明と、子供の理解力がかみ合っていないようで、残念に思うところがあった。
- ・クイズや二酸化炭素が水に溶ける実験等、子供たちが楽しんで学習することができるように授業を工夫して頂けたのでよかった。子供たちに提示するプレゼンテーション資料は文字が少なく見やすいものであるとよかった。
- ・事前の打合せは行ったが、要望していた体験的な活動が少なく、座って聞いているのが残念だった。子供の事前学習とほぼ重なっていた。授業の中で、チャレンジ10への取り組み方について分かりやすい説明があると、すぐ家庭で実践できると思う。（参観授業の際は、説明があり、すぐ家庭で実践できた）
- ・子供たちに考えさせる時間を設定するとなお良いと思いました。
- ・子供たちが知りたい内容とは少し違いがあったように感じた。授業後に「何を学んだのか？」という疑問があった。話が飛び飛びで行き当たりばったりな感じがした。「有意義な45分間」とは言いにくい。
- ・話を長時間聞くだけだとつらいのかなと思います。体験的な活動には楽しんで参加していました。
- ・視覚的な資料や体験できる実験がありその点では良かったのですが、内容が難しいところや講義の形式で学習が進められた点で、子供たちの興味を、その時間中持続することが難しいと感じました。
- ・内容が多く、少し子供たちには難しかった。もう少しぼってやってもよかった。

オ. 授業やチャレンジ 10 の取組みを通じて、児童の地球温暖化等環境問題への関心は高まりましたか。また、その理由もご記入ください。

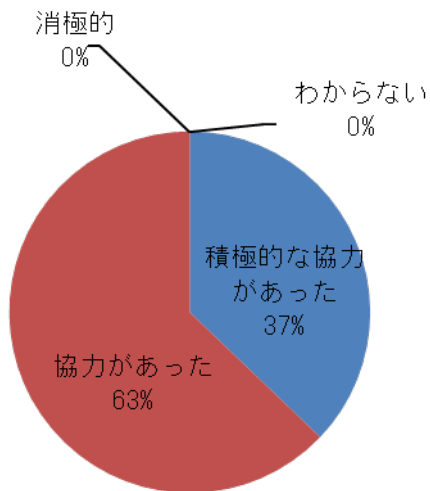


- ・自分の生活と温暖化がつながっていることを少し実感できたと思う。気を付けて生活しようとしていることが伝わってきた。
- ・学校生活の中で、こまめに電気を消したり水道を止めたりする姿が見られるようになった。また、家でも家族に節電・節水を呼びかけるようになった子供がいる。
- ・子供達の会話の中に地球温暖化に関する話題が出るようになった。ニュースなどにも注目するようになった。
- ・自分の実践をまとめたり、図書室やネットを使いながら環境問題について調べたりするなど、意欲的に活動していた。
- ・環境問題の話を地球温暖化と関連付けて考える子供が増えたり、省エネを意識した行動が広がったりした。
- ・保護者のアンケートで、「習慣化された」というチャレンジ 10 の取組みがいくつかあったため。
- ・学級で食品ロスを減らそうと、給食の完食を目指したり、冬休みも子供たちが出来ることを継続して考え、実行したりしました。
- ・地球温暖化防止の取組みを広めたいという思いから、「地球温暖化にストップをかけよう運動」を企画し、全校で取り組んだ。
- ・夏休みの実践後にも継続していこうとする児童が多かった。学校生活の中でも水の出しっぱなしや給食の残食がなくなるように声をかけ合う姿が見られた。
- ・地球温暖化への関心が高まり、より多くの人に環境問題を知ってほしいという意見が多く出た。パワーポイントで資料を作成し、プレゼンテーションした。
- ・ニュースで「地球温暖化」の言葉を聞くと「これも私たちの生活の影響なんだ」と思うようになった子どもが増えました。
- ・学習をしている間や夏休み中は意識して取り組んでいる様子が見られたが、その後の継続した取組みまでにはつながらない部分があったから。

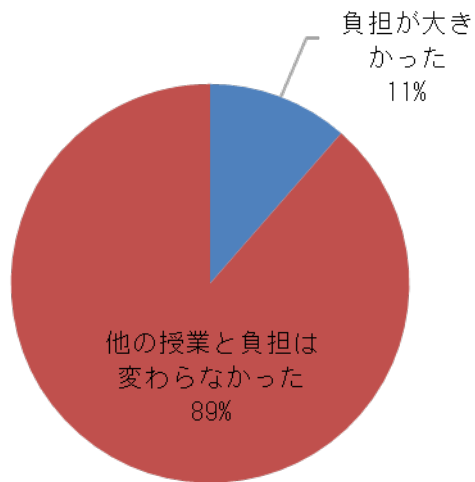
カ. チャレンジ 10 の授業で実施した内容も含めて、関心がある環境分野にチェックを入れてください（複数選択可）。



キ. 児童のご家族の全般的な反応はいかがでしたか。



ク. とやま環境チャレンジ10の準備や実施について、学校（担当教諭）の負担はいかがでしたか。



③地球温暖化防止活動推進員について

ア. 今後、貴校において、環境に関する授業（とやま環境チャレンジ10以外）を行う際に、地球温暖化防止活動推進員を講師として活用したいと思われましたか。

